

# DMZ Onsite をインストールした MeetingPlace Web

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[オンサイトに行く前に確認すべき項目](#)

[接続の確認](#)

[考慮事項に出席するためにクリックして下さい](#)

[オンサイト作業を開始する前に確認すべき項目](#)

[接続の確認](#)

[MeetingTime の既定のセットをグループ化して下さい](#)

[MeetingPlace Web インストール](#)

[オンサイト作業の後に確認すべき項目](#)

[市民集会をテストして下さい](#)

[会議をテストして下さい](#)

[講義スタイルの会議をテストして下さい](#)

[Web 会議および通知 確認](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、オンサイトに行く前またはオンサイト作業を開始する前、および Cisco MeetingPlace Web with Demilitarized Zone ( DMZ ) のオンサイト作業を完了後に使用する確認手順について説明します。

## 前提条件

### 要件

読みました [Cisco Unified MeetingPlace Web リリース ノート リリース 5.3](#) を確認すれば必要条件是満たされます。 Access-1 サーバ ( SMA-1S ) に会ってセグメント化され、セグメント化される異なる配置 モデル必要条件是ページに Access-2 サーバ ( SMA-2S ) に会って thr リリース ノート ドキュメントの 6 および 7 あります。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Unified MeetingPlace Web バージョン 5.3
- DMZ アーキテクチャ ( DMZ-B および DMZ-C ) — ( これらは [Cisco Unified MeetingPlace Web 会議 リリース 5.3 のための管理者ガイド](#) の SMA-1S および SMA-2S と言われます—セッアップと設定。 )

## [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## [オンサイトに行く前に確認すべき項目](#)

このセクションはオンサイトに行く前に必要な検証手順の輪郭を描きます。

### [接続の確認](#)

次の手順を実行します。

1. 見なす [Cisco Unified MeetingPlace Web 会議 リリース 5.3 のための管理者ガイド](#) の章を Secure Socket Layer ( SSL ) セッアップと共に外部Web 会議を、設定する方法を検討して下さい第 5。
2. ポート 80 かポート 443 ( SSL プロトコル ) がインターネットからおよび DMZ サーバに開いていることを確認して下さい。
3. ポート 80 がイントラネットからおよびインターネットに開いていることを確認して下さい。
4. ポート 5003 が DMZ サーバと Cisco Unified MeetingPlace サーバ間で開いていることを確認して下さい ( Cisco Unified MeetingPlace ゲートウェイ システム 統合 モジュール[GWSIM は]これを使用します )。DMZ サーバからイントラネットに始められる
5. WebShare に関しては、トンネル伝送することを避けたいと思う場合インターネットからおよび DMZ サーバに開いたポート 1627 を持つために確かめて下さい。インターネットから DMZ サーバに始められるこのポートが開いていない場合、10%より遅いポート 80 または 443 を通ってトンネリングは使用されます。
6. WebShare に関しては、トンネル伝送することを避けたいと思う場合イントラネットからおよび DMZ サーバに開いたポート 1627 があることを確かめて下さい。イントラネットから DMZ サーバに始められるこのポートが開いていない場合、10%より遅いポート 80 または 443 を通ってトンネリングは使用されます。
7. NetMeeting だけに関しては、インターネットからおよび DMZ サーバに開いたポート 1503 があることを確認して下さい。インターネットから DMZ サーバに始められる
8. NetMeeting だけに関しては、イントラネットからおよび DMZ サーバに開いたポート 1503 があることを確認して下さい。イントラネットから DMZ サーバに始められる

### [考慮事項に出席するためにクリックして下さい](#)

これらのファクタを考慮して下さい:

1. セグメント化された ( または分割するため ) Domain Name System ( DNS ) は使用するこ

とができますか。これは通知で単一 URL を使用することを可能にします。

2. そうでなかったら、通知 テンプレートを修正する方法を決定して下さい:2 URL を使用するために計画しますか。会議が公共または私用であるかどうかに基づいて別の URL を使用するために計画しますか。
3. インストールかアップグレードの後で機能性をテストするエンドユーザのパイロットがあるかどうか確認して下さい。
4. NT Authentication を使用するのに使用するか、または計画しますか。

## オンサイト作業を開始する前に確認すべき項目

### 接続の確認

次の手順を実行します。

1. (開いた) PING および NSLOOKUP 別の内部 PC からの内部Webサーバの完全修飾ドメイン名 (FQDN) か IP アドレス。PING meetingplace.company.com (サーバの正しいホスト名と取り替えて下さい) NSLOOKUP meetingplace.company.com (サーバの正しいホスト名と取り替えて下さい) 注: NSLOOKUP を使用するため、**NSLOOKUP meetingplace.company.com** を入力するために DOS プロンプトを開くため (Start > Run の順に進み、**cmd** を入力し、『OK』をクリックして下さい)、そして (-サーバの...正しいホスト名と取り替えて下さい)。
2. (開いた) PING および NSLOOKUP 外部 PC からの DMZ Webサーバの FQDN か IP アドレス。
3. (開いた) PING および NSLOOKUP 別の内部 PC からの DMZ Webサーバの FQDN か IP アドレス。
4. (開いた) PING および NSLOOKUP DMZ Webサーバからの MeetingPlace サーバの FQDN か IP アドレス。
5. DMZ Webサーバからの Cisco Unified MeetingPlace サーバへのポート 5003 の Telnet。ポートが開いていることを確認するために次の手順に従って下さい:Start > Run の順に進み、*servername* が MeetingPlace サーバの名前または IP アドレスである、入力し『OK』をクリックして下さい **telnet servername 5003** コマンドを。一連の無意味な文字を見れば (たとえば、☺♥、☺+/\|か。♥|\か。ÿφ は)、ポート 5003 開いています。終了するために **Ctrl-]** (コントロール、右角かっこ) を入力して下さい。接続の失敗を得る場合、ここに示されているように、ポート 5003 は開いていません:  

```
Could not open connection to the host,  
on port 5003: Connection  
failed
```

### MeetingTime のグループ既定のセット

会合のもっとも一般的な型とは何か。

注: 会合が大抵内部である場合、皆に機能にに会っているグループ既定の表示をいいえ設定して下さい 彼らが大抵市民集会である場合、はいに皆に会っている設定された デ스플레이。

### MeetingPlace Web インストール

1 または 2 サーバ配備に適用するかどうか ) これらのステップを完了して下さい (これらのステップは基づいて変わります:

1. サーバのためのハードウェア および ソフトウェア要件を確認して下さい。ゲートウェイ マシンのハードウェアが適切な必要条件すべてを満たすことを確かめます。より多くの会議をホストするマシンはより速く、よりよいハードウェアを備えなければなりません。
2. SMA-1S 配備に関しては、表 5-1 の実装と 2 サーバ配置のセグメント化された会議アクセスのためのステップに、参照します [Cisco Unified MeetingPlace Web 会議 リリース 5.3 のための管理者ガイド](#)の表 5-2 を従って下さい。

## オンサイト作業の後で確認すべき項目

### 市民集会をテストして下さい

次の項目を確認してください。

1. これらの能力を確認して下さい:プロファイルされたユーザとしてログインするのに内部 Webサイトを使用して下さい。公共会議をスケジュールするために、内部 Webサイトを使用して下さい。添付ファイルを持つ公共会議をスケジュールするために、内部 Webサイトを使用して下さい。内部 PC からの添付ファイルを表示できます。上記の会議のための通知を受信します。リンク作業に内部で出席するクリック。インターネット PC からのリンク作業に出席するクリック。内部および外部ビューア Web 会議、また共有に加入し、同じ Web 会議で協力できます。
2. 外部サイトの次のような能力および制限を確認して下さい:内部 サイトから出席するときプロファイルとしてログオンされます。外部サーバから添付ファイルおよびスライド・ショーにアクセスできます。ゲストは添付ファイルを追加するか、または権限がユーザ ディスプレイ オプションを変更できません。

注: 会議室が 1%でフリーズされるようであるか、または会議室 機能が選択不可能になれば、ホスト名は不正確に入力されるかもしれませんまたは DMZ テンプレートは外部会議リダイレクトのために現在使用されません。

### 会議をテストして下さい

これらの検証手順を完了して下さい。

1. これらの能力を確認して下さい:内部 Webサイトから私用会議をスケジュールできます。内部 PC からのこの私用会議を表示できます。内部 Webサイトから添付ファイルを持つ私用会議をスケジュールできます。内部 PC からの添付ファイルを表示できます。上記の会議のための通知を受信します。リンク作業に内部で出席するクリック。内部 ビューアは Web 会議に加入できます。
2. 次のような制限を確認して下さい:DMZ Webサイトからの私用会議に出席できません。Web 会議に加入するとき DMZ Webサイトにリダイレクトされません。

### 講義スタイルの会議をテストして下さい

これらの検証手順を完了して下さい。

1. これらの能力を確認して下さい:イントラネットから公共および私用 講義スタイルの会議をスケジュールできます。プロファイルされたユーザはイントラネットおよびインターネットからのホストA 講義スタイルの会議できます。プロファイルされたユーザはイントラネット

およびインターネットから協力することができます。

2. 次のようなゲスト制限を確認して下さい:ゲストはイントラネットからのホストA 講義スタイルの会議できません。ゲストはインターネットからのホストA 講義スタイルの会議できません。ゲストはイントラネットから協力することができません。ゲストはインターネットから協力することができません。

## Web 会議および通知 確認

これらの検証手順を完了して下さい。

1. ポート 1627 が開いていない場合トンネリングを確認するため:Web 管理者ユーザ ユーザー・インターフェース ( UI ) へのログイン。Cisco Unified MeetingPlace Web へのログイン。Admin リンクはウェルカム画面の右上にあります。データ 会議 サーバリンクをクリックして下さい。高度リンクをクリックして下さい。強制 HTTP トンネリング ボックスをチェックして下さい。加入 Web Conference ボタンをクリックして下さい。WebShare クライアントが開けば ( 「MeetingPlace アプリケーション共有への歓迎。」 ) 、トンネリングは機能です。WebShare クライアントが開かない場合、トンネリングは機能ではありません。 [Cisco テクニカル サポートに連絡する](#) 必要があります。
2. 通知が正しく送信されること、そしてリンク作業に出席するクリックことを確認して下さい。

## 関連情報

- [Cisco Unified MeetingPlace Web 会議 システムマネージャのガイド](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)